

會議概要

件名	令和6年度第2回安曇野市スポーツ推進委員会全体会議
期日	令和6年7月31日（水）午後7時00分～
場所	本庁舎4階大会議室
出席者	安曇野市スポーツ推進課：2名 安曇野市スポーツ推進委員： （豊科地域）　3名 （穂高地域）　4名 （三郷地域）　3名 （堀金地域）　3名 （明科地域）　5名 ※敬省略　※出席委員総数：18人
配布資料等	・令和6年度第2回安曇野市スポーツ推進委員会全体会議次第 ・グループワーク用メモ

【会議事項】

1. 開会・あいさつ

前回の代表者会議にて、今一度スポーツ推進の立場でできる役割を模索しようという話となった。今回はグループごとにディスカッションをし、スポーツ推進委員として自分たちがやっていること、出来ること等について議論してほしい。
2. 協議事項
 - ① 体験会等
 - ・スポーツを始めても一定のところで辞めてしまう人が多い。高齢化が進む中で生涯スポーツの重要性が高まってきており、健康推進のためにも高齢者向けにスポーツ普及を進めるべき。
 - ・子供を取り巻くスポーツの状況として、運動部に入る児童が減少してきていることから市町村を超えた合同チームが増えてきている。各競技への入り口としても、競技の紹介や体験が効果的と考える。例えば短時間でコマ分けして複数の競技に一度に触れられる体験会を開くなど。
 - ・スポ少やクラブチームは競技性（勝敗）を重要視するため、気楽にスポーツを始めたい層が参加しにくい現状がある。それらとは一線を画して気楽に競技に携われる体験会やサークルを設ける。その後ステップアップしたい人はスポ少等へ入ってもらえば良い。
 - ・各公民館の体育部長を呼んで、勉強会を兼ねてスポーツ教室を行う。
 - ・スポーツのみではなくレクリエーションを絡めて、様々な団体と共催でイベントを行い、参加者増加を目指す。
 - ・堀金で親子でも参加できるバドミントン教室を行ったところ、親子の参加者が多かった。スポーツや競技への潜在的な関心はかなり高いが、競技を始める機会が少ないことの表れ

かもしれない。

- ・ワンバウンドふらば一るバレーはかなり広まったが、その一方で競技志向が高くなり、初心者が始めるにはハードルが高くなってしまっている面がある。誰でも参加しやすい新たなスポーツ（ピックルボール等）を広めるのも良い。
- ・大会が開かれるところまで行くと、参加にしり込みしてしまう人もいるため、体験会、研修会ベースで取り組める競技があると参加しやすいのではないかな。
- ・体験会等を開催するのであれば、優先して体育施設がとれるように配慮してほしい。
- ・体験会は広く誰でも参加できるように、各地域を順番に巡っていく方式が良い。
- ・三郷地区で行っているように、体育館の無料開放を他の地域でも実施する。無料開放中は体育館を利用して誰がどんな競技をしても良い。
- ・篠原信一氏、小平奈緒、出口クリスタ等、地域に関連のあるメダリストも多い。講演会などを主催できればスポーツへの関心向上につながる。特に篠原氏は安曇野市スポーツ大使であり、市内に居住している。
- ・夏休みのラジオ体操に親子、祖父母も参加するよう呼びかける。

② 体力測定

- ・事務局依頼のものだけでなく、推進委員主導でニュースポーツ体験会、体力測定会を市内各地域で行う。老若男女問わず参加を呼び掛ける。
- ・体力測定を各地域（各公民館等）で実施する。健康診断も並行して行うなど、参加者増加のための工夫を行う。
- ・体力測定をやってみたいがその機会がないという層が一定数いると思われる。規模は小さくても複数回開催すれば、健康に意識を向けてくれる人も増えるのではないかな。参加にあたっては特典などがあれば参加促進につながる。健康診断のように普遍化するのが望ましい。

③ 公民館事業

- ・これまでは公民館事業の手伝いを中心に活動してきたが、コロナ禍以降、公民館活動も縮小気味であるため、改めてスポーツ推進委員としてできることを模索していくべき。
- ・公民館との連携強化。公民館からの依頼を受けるのみではなく、双方向の活動提携。

④ 推進委員の研修等

- ・ニュースポーツは多種あり、市保有の道具もあるが、競技の方法が分からず一般化していないものもあるため、体験会は推進委員の勉強も兼ねて積極的に開くべき。
- ・県体育センターの職員を招聘して、推進委員向けにニュースポーツ等の勉強会を行う。
- ・ニュースポーツ体験会の開催について年間計画をスポーツ推進委員で策定し実施する。並行して、推進委員のニュースポーツ知識の習得も行う。
- ・ニュースポーツの中から、誰でも取り組めて、広めやすい競技を選別していくためにも、推進委員が体験できる機会も設けていくべき。

⑤ 総合型地域スポーツクラブ

- ・国からの指針として、スポーツ推進委員主導で総合型地域スポーツクラブを設置するよう

要請があるが、堀金地域を除いた地域では設置されていない現状である。各地域で一から設立するのは困難であるし、設立したのに維持が困難で尻すぼみになっている事例もあるため、既存の機関であるスポネット常念に全面的に協力するのはどうか。

- ・ スポネットでは既に市からの委託のもと複数の事業を行っており、中学部活からの委託を受けるといった実績もある。保険関連もしっかりしているため、様々な活動をするうえでスポネット常念の事業として行くとメリットが多い。
- ・ スポーツ事業についてやりたいことはあるものの、スポーツ推進委員としてやるのが困難であることから、スポネット常念と協力してやっている事業もある。
- ・ スポネット常念は、市・県、toto の助成などを受けており、享受できるメリットが多い。
- ・ 現状スポネットを通じた活動実績が多く、スポネット常念内の交流も多く仲間意識も強い。

⑥ 連絡・広報体制等について

- ・ スポーツ推進委員の活動は今まで各地域単位で請け負っていたが、市全体で展開していくほうが良いのではないかと。他の地域のイベントの応援も行うことで、地域を超えて交流が盛んになるしノウハウも伝播していく。
- ・ 既存の活動である体験会講師等などについて、各地域ではなく推進委員全体で参加可能者を募る形でも良い。
- ・ 保険などの制約でスポーツ推進委員主導の活動ができないという側面もある。事故等について誰が責を負うのか不明であるため、そこが明確となれば活動の幅も広がると思われる。
- ・ 推進委員としての活動をするのであれば、市の広報や公民館報を利用して参加呼びかけを行うのが望ましい。
- ・ スポーツ推進委員として活動するために、委託や依頼の受付窓口を整理、一本化したほうが効率的。

⑦ イベント案

- ・ 堀金地域駅伝大会を安曇野ハーフマラソンのように安曇野市全体のイベントとする。
- ・ ロゲイニングは知名度、人気ともにあるため実施を検討したい。
- ・ 市民スポーツ祭や地区の運動会に、スポーツ推進委員から種目を提案する（ボッチャ等）。
- ・ 既存の健康教室等でニュースポーツを採用してもらい、認知度を高める。

3. その他

- ・「ワンバウンドふらば〜るバレーボール」のボールについて：別紙
(豊科地域委員より)

公益財団法人日本レクリエーション協会より依頼された件

現在、日レクでは、ボールの素材のリニューアルを検討しており、そのモニターとして安曇野市にも協力してほしい要請あり。サンプルボールを 10 個提供されたので、使用していただき、感想を教えてほしい。

- ・研修講座の案内(事務局より)

生涯学習推進センター主催「スポーツを楽しむためのコミュニケーションスキル」

「アダプテッドスポーツ」→~~メ~~切過ぎてはいるため、希望する場合は、事前に問い合わせを

- ・今後の予定

9 月頃-代表者会議開催予定

11 月頃-全体会議開催予定

4. 閉会